

豊後大野市立百枝小学校

☆☆☆ 豊後大野市 学校教育方針 ☆☆☆

「主体的な自己実現」をめざしてー15に春をー 3Dヘプタゴン 「3次元空間で育てる豊後大野っ子」多面的な教育の推進

☆☆☆ 学校 教育 目 標 ☆☆☆

ふるさとを愛し かしく やさしく たくましく生きる百枝っ子の育成



百枝小 きりかぶさん

3Dヘプタゴン 7つの柱



豊後大野市 ヘプタゴン

1 キャリア教育 目標 学校教育目標に向けてめざす資質・能力＝「自主・自立」「共生・協働」

知識及び技能の習得

教師の秘伝1の活用

思考力、判断力、表現力等の育成

教師の秘伝2の活用

学びに向かう力、人間性の涵養

教師の秘伝3の活用

4 確かな学力

学力向上プランの概要

- 【達成指標】 ○国語・算数の単元末テストで、どの学年においても、全国平均以上の児童を70%以上にする。
○「教科書をすらすら正しく読むことができている」と回答する児童を80%以上にする。(三重町共通項目)
○「授業がわかる」と回答する児童を90%以上にする。
- 【検証指標】 ○「自分から進んで手を挙げて発表する」と回答する児童を85%以上にする。
○「ペアやグループで話し合いができた」と回答する児童を85%以上にする。
- 【取組指標】 ○授業者は国語・算数において課題・発問計画(マイノート)を必ず作成する。
○授業者は、ペア・グループ学習を1日1回以上取り入れる。
○授業者は、毎時間、具体物・図・表・絵・ヒントカード等を準備する。
○担任は、国語の授業で「音読と書く活動」を1回以上取り入れる。
○教職員は、宿題のやり直しに必ず取り組ませる。



効果のある取り組み事例

1. チーム学校で取り組む授業改善

- 「チーム学校計画シート」の活用
 - ・「学校評価4点セット」「新大分スタンダード」「豊後大野市学力向上の重点」をまとめた「チーム学校計画シート」により、個人とプロジェクトの取組内容が一覧できるようにすることで、定期的なPDCAに取り組む。
- 「3つの資質・能力のために育てたい力 シート」の活用
 - ・「3つの資質・能力」の育成に向け、「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性の涵養」のそれぞれにおいて、「教師の秘伝1～3」を参考に、今年度の重点を設定して取り組む。
- 「百枝小アクティブラーニングシート」の活用
 - ・校長の日常的な授業観察と互見授業の際に、学習過程を7過程に整理した「百枝小アクティブラーニングシート」を活用して、指導や振り返りを行う。
- 市指定の図書館活用教育の推進
 - ・本年度から豊後大野市指定の図書館活用教育に取り組んでいる。大分大学の准教授を共同研究者に迎え、「主体的な対話によって読みの力を育てる授業」を研究主題に、国語科文学教材を通しての研究に取り組む。

2. 児童の学習意欲を向上させるための工夫

- 「学びのてびき」の活用
 - ・学び合いの方法や学び合いで使う言葉等を整理した「学びのてびき」を活用して、ペアやグループの学習に取り組む。
- 「説明文・文学作品のプロノート」の活用
 - ・説明文と文学の読み取りにかかる指導の系統を整理した「プロノート」により、確かな読み取りの力の定着を図る。

5 豊かな心

目標 「学校が楽しい」と感じる児童を90%以上にする。



6 郷土学

目標 「郷土学習が好き」な児童を90%以上にする。

7 人材育成

目標 「チーム学校計画シート」の達成率を90%以上にする。

3 コミュニティスクール 目標 地域とともにある学校



2 連携型小・中一貫教育

目標

ふるさとを愛し

心身ともにたくましく

個性豊かで

学び意欲に満ちた児童生徒の育成



H30 チーム学校計画シート (2学期版)

三重町小・中学校共通教育目標 **ふるさとを愛し 心身ともにたくましく 個性豊かで 学ぶ意欲に満ちた児童・生徒の育成**

学校教育目標 **ふるさとを愛し かしく やさしく たくましく生きる百枝っ子の育成**

学校評価4点セット ⇒ 新大分スタンダード & 3Dヘプタゴン & ももえだアクションプラン

プロジェクト

		具体的内容	重点目標	達成指標	役割	重点的取組	取組指標	チェック								
確かな学力の育成 学力向上プラン	探究活動	「ふるさと学習」の充実	確かな学力の育成	○国語・算数の単元末テストで、どの学年においても、全国平均以上の児童を70%以上にする。 ○「教科書をすらすら正しく読むことができる」と回答する児童を80%以上にする。(市内共通項目) ○「授業がわかる」と回答する児童を90%以上にする。 ○「家庭学習を必ずしている」と回答する児童が90%以上になる。(市内共通項目)	学校	○基礎的・基本的な知識・技能を「主体的」に習得できるようにする。 ・進んで挙手できる工夫をする。 ○認め合い、助け合い、教え合うことが「対話」によりできるようにする。 ・話し合いの場を工夫する。	○授業者は国語・算数において課題・発問計画(マイノート)を必ず作成する。 ○授業者は、ペア・グループ学習を1日1回以上取り入れる。 ○授業者は、毎時間、具体物・図・表・絵・ヒントカード等を準備する。 ○担任は、国語の授業で「音読と書く活動」を1回以上取り入れる。 ○教職員は、宿題のやり直しに必ず取り組ませる。	学びプロジェクト	プロジェクト							
		「ジオサイト」学習(6年生)														
	生活科・総合的な学習の時間のGTの招聘															
	学習規律の定着	チェック														
	生徒指導の3機能を意識した授業づくり(自己決定・自己存在感・共感的人間関係)															
	UDを取り入れた授業															
	スキルアップ															
	国語辞書の活用(小3以上)															
	思考力・表現力の育成とテスト対策															
	保護者との連携															
豊かな心の育成 学力向上プラン	特別支援教育	合理的配慮の充実	6	個別指導計画・個別支援計画の作成・実施	主體的な対話によって学ぶ力を育む授業	○基礎的・基本的な知識・技能を「主体的」に習得できるようにする。 ○認め合い、助け合い、教え合うことが「対話」によりできるようにする。	○進んで挙手できる工夫をする。 ○話し合いの場を工夫する。	○授業者は国語・算数において課題・発問計画(マイノート)を必ず作成する。 ○授業者は、ペア・グループ学習を1日1回以上取り入れる。 ○授業者は、毎時間、具体物・図・表・絵・ヒントカード等を準備する。 ○担任は、国語の授業で「音読と書く活動」を1回以上取り入れる。 ○教職員は、宿題のやり直しに必ず取り組ませる。	心プロジェクト							
		読書活動の推進	7	朝読書、すきま読書の指導・充実												
	図書館教育	読書活動の推進	8	図書館活用型授業の取組(平行読書、調べ学習)												
		読書活動の推進	9	家庭読書の推進												
		読書活動の推進	10	リーディングパティの取組推進												
	豊かな心の育成 学力向上プラン	生活指導	あいさつ	11						「あいさつ」の取組	豊かな心の育成	○「学校が楽しい」と回答する児童を90%以上にする。 ○「気持ちの良いあいさつができて」と回答する児童を80%以上にする。(市内共通項目) ○「三重町を知る学習」に積極的に取り組んでいる」と回答する児童を90%以上にする。(市内共通項目) ○概ね午後9時を目安にゲームやSNS、動画サイトの視聴を終わらせ、睡眠時間を確保できたと回答する児童が80%以上になる。(市内共通項目) ○80%以上の地域の方から「児童が気持ちの良いあいさつ」をしていると回答いただけるようにする。(市内共通項目)	学校	○あいさつと「ふわふわ言葉」の徹底を図る。 ○異学年の活動を生かし、認め合いの場を設定する。	○教職員は、自ら「あいさつ+1」に取り組む。 ○教職員は、あいさつの意味や仕方について、週1回以上指導する。 ○教職員は、お話集会で、伝え合いや認め合いができる工夫をする。 ○担任は、週に1回以上笑顔の花を書く時間を確保する。	心プロジェクト
			言葉づかい	12						「ふわふわ言葉」の取組「よびすて」をしない・させない取組						
			そうじ	13						「もくもくそうじ」の取組(なかよし班そうじも含む)						
		道徳教育の充実	道徳の時間の充実	14						道徳の授業公開(授業参観等) 人権教育授業の公開(授業参観等)						
			特別活動	15						学級会の運営・充実 児童会活動(なかよし班)と学級活動の運動						
人権・同和教育の推進			16	人権集会の取組(学期に1回)												
安全教育		防災・安全指導	20	年間3回以上の避難訓練の徹底・充実												
		事故防止対策	21	安全点検 月1回												
		事故防止対策	21	安全点検 月1回												
健やかな体の育成 学力向上プラン		一校一実践	体づくり運動・サーキット等の推進	22		健やかな体の育成	学校	○運動の大切さを理解させ、すすんで運動する子どもを育てる。 ○基礎体力の向上を図る。	○元気プロメンバーは、1日15分以上の外遊びの呼びかけを毎日行う。 ○授業者は、毎時間、「百枝小サーキットトレーニング」を取り組む。 ○教職員は、集団登校に係る情報交流を、月末の一斉下校時に行う。 ○保護者は、集団登校の声かけをする。 ○地域ボランティアは、集団登校の児童に声をかける。	元気プロジェクト						
	リレー集会の推進		23													
	体育の授業改善		24	「元気アップタイム(月・水)」の取組												
	外遊び15分以上運動の推進		25													
	集団登校の取組		26													
	食育	給食指導と食育指導	27	個に応じた給食指導(なかよし班給食も含む)												
		給食指導と食育指導	28	弁当の日の取組(年間2回:お別れ遠足)												
		給食指導と食育指導	29	歯磨きタイム・フッ化物洗口の指導												
	体と心	体と心を守る取組	30	「ノーマディア」の取組	家庭 地域						○集団登校を見守る。 ○集団登校を見守る。	○保護者は、集団登校の声かけをする。 ○地域ボランティアは、集団登校の児童に声をかける。				

学校評価の実施 家庭・地域社会との連携(三重町連携型小・中一貫教育TRY推進協議会) 地域とともにある学校づくり



2018 3つの資質・能力育成のために育てたい力 と 学級経営案（2学期版）

学校教育目標

ふるさとを愛し かしこく やさしく たくましく生きる百枝っ子の育成

基本目標～学校教育目標に向けてめざす資質・能力

自主・自立, 共生・協働

資質・能力		番号	資質・能力育成のために育てたい能力 ～ 今年の重点は「1・5・11・16・19」	チェック				
知識及び技能の習得	基礎的・基本的な知識・技能を主体的に習得して、自分のものとして活用できる力	1	進んで挙手して主体的に学習活動に参加して、知識や技能を確実に習得していく力		教師の秘伝 その1			
		2	分からないこと・知らないことを恥ずかしがらず、自分から質問したり、助けを求めたりして、主体的に知識や技能を習得していく力					
		3	教え合い、助け合い、支え合いながら、人とかかわりを通して知識や技能を習得していく力					
		4	新たに獲得した知識や技能を既存の知識や技能と関連づけたり組み合わせたりしながら、学習活動や生活の場面で積極的に活用していく力					
3つの資質・能力 思考力 判断力 表現力の育成	認め合うこと、助け合うこと、教え合うことを重視しながら、多様な考え、経験、価値観を出し合う話し合いをして、児童自らが思考を広げたりしながら、新たな知識を創造する力	5	話し合いにおいて、他の人の考え方と自分の考え方の関連性を考えながら、表現する力		教師の秘伝 その2			
		6	発言内容と発言内容の関連性を捉え、そこから共通点や法則を見出したり、法則を適用したりして、論理的に思考していく力					
		7	話し合いで出された多様な発言を大きくまとめて、まとまり相互の関連性を意味づけるなどして統合していく力					
		8	話し合いを通して統合されたみんなの考えを、自分の知識や経験、価値観と結びつけて、心で受け止めて、自分なりの新たな知識を構成する力					
		9	多面的・多角的に考え、いろいろな考え方があることを理解して多様な考えを認めたり、自分の考えを広げたり深めたりする力					
		10	人と協働して、考えを広げたり、深めたり、折り合いをつけたりして、自己の考えに固執せず柔軟に思考しながら、問題解決に向けて粘り強く取り組む態度					
		11	人と話し合う(対話・議論)ことのすばらしさを知り、積極的に話し合いに参加して、自らの考えを広げたり深めたりしていく態度					
		12	問題の発見や解決に必要な情報を収集して、整理・分析して、目的に応じたまとめ方をして、自分の考えの根拠として活用しながら表現する力					
		13	多様な情報や考え方をつないで、自分なりに意味づけたり新たな知識を構成したりして、創造したことを、生活や生き方に役立てられるような価値あるものにしていく態度(イノベーションの能力)					
		14	学習問題の解決や自分の目的達成のために、思考ツールの有効性と特徴を理解し、有効に活用する態度					
		15	ICT(情報通信技術)の有効性と特徴を知り、課題追求の学習において、積極的に活用して、自分の考えを深めていく力					
		学びに向かう力 人間性の涵養	学んだことを自分や生活とかかわりで見え、自分の生活や生き方に役立てようとする態度	16		思いやりや優しさを優先して、教え合い・助け合い・支え合い、人とかかわる良さを感じ取りながら、主体的・協働的な学習ができる態度		教師の秘伝 その3
				17		生活や学習では、みんなでよくなることで自分もよくなることにつながるという価値観のもと、助け合ったり教え合ったりして、自らの生活や学び方をよりよくしていく態度		
				18		学習を通して学んだ人とのよりよいかかわり方を、自分の全ての生活で実践して、自分の考え方に生かしたり、自分の生き方に取り入れたい態度		
				19		【自分をつくる】 学ぶこと・働くこと・生きることの尊さを実感し、学ぶ意欲を持つ態度		
20	【みんな一緒に生きている】 共生・協働の精神を持ち、共生社会を実現していく態度							
21	【わたしたちのまち 百枝・三重町・豊後大野市】 心のよりどころとしてのふるさと百枝・三重町・豊後大野市に愛着を持つ態度							

1学期 学級経営案(私の最重点) ≡ 「目標管理シート」

学年	学年目標(学級テーマ)	担任・担当	授業への最重点	チェック	生活指導の最重点	チェック	プロジェクトへのかかわりの最重点	チェック
1年	なかよし		自力解決のための時間の確保と考えを持つための教材教具の工夫。		認め合い支え合える学級づくり。		学びプロ～全員が進んで挙手できる授業の工夫。	
2年	かしこく、やさしく、たくましく		ユニバーサルデザインの良さを取り入れた授業づくりと全員挙手をめざした授業づくり。		困りを持つ子を中心に、みんなが認め合い、みんなが認められる学級づくり。		学びプロ～国語・算数の授業におけるマイノートの作成。	
3年	えがお		全員が意欲的に自分の考えを持ち、考えを深めていける課題と発問を用意する。考えを広げていける交流の場を工夫する。		誰もが嫌な思いをしないで、元気で明るくなるように言葉づかいや態度を考えさせて実践させる。		心プロ～お話集会や笑顔の花の取組で、相手を認める態度を育てる。	
4年	感謝しはげまし褒め合うクラス どうして？があふれるクラス		基礎的・基本的な知識・技能を「主体的に」習得できるようにする。進んで挙手できる工夫を進める。		グループ活動などの自治的な活動の場を設定し、自分たちの活動内容を発表する場を設定する。		元気プロ～百小サーキットによる基礎体力の向上を図る。	
5年	考動 ～自分の意志を持ち、考えて行動する5年生～		多様な考え方ができ、互いの考えを交流し合いながら課題解決に向かう授業づくり。		「ゆるす・ゆるす」心を持ち、歩み寄り、互いに認め合える学級づくり。		元気プロ～体を動かすことが楽しくなる体育授業の組み立て。	
6年	"信頼" "やさしさ" あこがれの6年生になる!		主体的な姿勢(全員発表)、受容的な態度(認めて返す・つなげる)を育てる。		異学年と進んでかわり、範を示すことができるようにする。(あいさつ+1, 笑顔の花)		心プロ～「笑顔の花」を広げ、深める。あいさつの指導で相手意識の向上を図る。	
おり	なかよくだのしくおわりまで		わかりやすい授業のために、教材・教具を工夫する。習熟の時間を確保する。		自立のための支援をする。		心プロ～気持ちの良いあいさつをどの子どもとも交わすように心がける。	
保健	自分の健康を意識し、保持・改善に努めることができる		健康診断結果や健康観察、保健室来室状況をもとに、集団指導や個別指導を行うとともに、担任や家庭と連携する。				元気プロ～保健室から情報や資料を発信し、健康について興味関心を持たせる。	

百枝小アクティブラーニングシート 20のポイント



◇ 授業の開始

振り返り用

授業観察用

1	2分前着席ができています。		
2	チャイムで始めている。		

◇ 前時の振り返り

3	導入時に教師が前時の学習内容や既習事項にふれる。 (もしくは3分間チャレンジ: 国・算を中心に)		
4	ノート等をもとに児童自身が前時を振り返る。 (もしくは3分間チャレンジ: 国・算を中心に)		
◎	児童同士で前時の学習について話す		

I 課題設定(学習課題, めあての提示)

5	「課題」を黒板に示し, 2~3 回声に出して読ませる。		
6	「課題」は具体的でわかりやすい表現となっている。 (「まなブック」「説明文・文学の系統表」等の活用)		
◎	「課題」は児童にとって興味や必要感がある。		

II + III 問いを持つ 問いの共有(本時の見通し)

7	本時の流れ(シラバス)を示し, 学習の見通しを持たせる。		
8	「課題」の確認を個人・全体で行い, 解決の見通しを持たせる		
◎	「学習過程スタンダード」等を活用する。		
◎	評価基準を示す。		

IV 自力解決【生徒指導の3機能: 自己決定】

9	「課題」について, 個人で考える場面をつくる。		
10	思考・解決のための十分な時間を保障する。		
11	表現方法の多様(図・式・言葉等)を保障する。		
12	思考・解決を助ける適切な資料やツールを用意する(辞書を含む)		
13	速度に応じた個別の支援(A児・C児)の手立てを用意する。		

V 集団解決(ペア・集団による解決)【生徒指導の3機能: 共感的人間関係】

14	個人で考えたことを交流する。(「てびき」の活用)		
15	話し合いを深める支援を行う。(「てびき」の活用)		
◎	司会・記録・発表等の役割を経験する機会の保障。		
◎	話し合いの内容を児童自身がまとめる。		

VI 価値の共有(全体解決・まとめ)

16	構造化された板書を心がける。		
17	教師は少なく話す。		
18	「課題」と整合性に注意した「まとめ」を行う。		
19	本時の思考過程が可視化されるように, ノートやワークシートの書き方を工夫する。		
◎	全員挙手を意図した働きかけを行う。(「教師の秘伝1」等の活用)		
◎	意見や発表に対する適切な評価を行う。		

VII 振り返り【生徒指導の3機能: 自己存在感】

20	「課題」が達成できたか振り返る。 ①わかったこと ②友から学んだこと ③もっと知りたいこと		
◎	振り返りを言語化させる。(1~2人発表)		
◎	下線や吹き出し等を用い, 振り返りが深まる工夫を行う。		

※「1~20」が喫緊の重点的取組